



## ハンドマッサージが 笑顔と会話が弾む きっかけに



くにたちアロマハンドマッサージボランティア  
ほの香

平成23年10月、国立市社会福祉協議会ボランティアセンター主催の「第1回アロマハンドマッサージボランティア養成講座」開講を機に発足。同年12月より、活動開始。

団体を結成したきっかけを教えてください。

平成23年10月、国立市社会福祉協議会ボランティアセンター主催の「第1回アロマハンドマッサージボランティア養成講座」開講を機に発足しました。

同年12月より、講座終了者17名で活動を開始しました。平成26年1月にグループ名を「くにたちアロマハンドマッサージボランティアほの香」と改称しました。

現在の会員数を教えてください。

令和3年4月現在、23名です。

活動内容を教えてください。

市内の高齢者施設など7ヶ所で活動しています。各施設に2〜3名で訪問し、ボランティア1名につき3名程度の方を施術しています。

キャリアオイルに精油をブレンドしたマッサージオイルを用いて指先から肘までを、約15〜20分間ハンドマッサージをしています。毎月1回定例会を開催し、技術を維持するため、相互で練習し、自己流になるのを防ぐほか、各自、訪問先でのボランティア活動の報告や事例発表

をもとに意見交換し、会員及び各施設との連携を深めています。

活動の中で印象的に残っている出来事がありましたら教えてください。

デイサービスを利用の高齢者の方で、当初は全く言葉の出なかった方が、ハンドマッサージをしながら話しかけ続けたところ、回を重ねるうちに会話ができるようになり、楽しそうな笑い声が聞かれるような変化が起きました。ご本人宅への訪問介護担当者が、「どんなことをしているのだろう。」と、施術の様子を見学に来られ、在宅時とは表情まで違っていると驚かれたことがありました。

グループとしての今後の課題はありますか。

毎月開催予定の定例会への出席、施設訪問の参加者が増えることを望みます。そのため働きかけの方法を今後考えていきたいです。

コロナ禍のもとで、現在、活動を一時休止していますが、ハンドマッサージの施術レベルを保つこと、ボランティア意識を維持するには定期的に勉強会などが必要だと考えています。

活動をしていて嬉しかったことはありますか。

施術終了時に、「気持ちよかったわ。」「今度は、いつ来るの？」と笑顔がいただけた時に活動をしていて嬉しく感じます。

その他にも、初めての方が不安げに座り、施術を進めていく中で、徐々に表情が明るくなり、おしゃべりが弾んだ時や施設の職員さんから、楽しみに待っている利用者さんがたくさんいらつしやるとの情報を聞いた時など、嬉しいです。



▲ハンドマッサージの様子